3.初発の 5 大癌の UICC 病期分類ならびに再発患者数

癌の5大癌と呼ばれる、胃癌、大腸癌、乳癌、肺癌、肝癌の症例数を初発のUICC病期(ステージ)分類別、および再発に分けて集計しました。

定義

◇集計期間に退院した症例
◇同じ患者さんが複数回入院している場合はそれぞれ１例としてカウント
◇初発例としてカウントした患者は再発例にはカウントしない
◇国際対がん連合(UICC)によって定められた、※原発巣の大きさと進展度(T)、所属リンパ節への転移状況(N)、遠隔転移の有無(M)の要素によって各癌を0期～Ⅳ期の5病期(ステージ)に分類
※原発巣･･･癌が最初に発生した場所にある病巣

部位	UICC 病期分類(ステージ)(初発)					再発
	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	不明	
胃癌	17	—	—	22	—	20
大腸癌	20	—	16	49	—	—
乳癌	—	—	—	—	—	—
肺癌	—	—	—	—	—	—
肝癌	—	—	—	—	—	—

解　説

病期分類基準　1：UICC TNM 分類　　版数：第 8 版

当院での癌症例を病期分類で見た場合、胃癌は初期と末期のステージ割合が多く、初期では約半数は内視鏡下による切除を行い、短期間で退院しています。また、内視鏡で切除できない場合は開腹手術を行いますが、体への負担が少ない腹腔鏡下による切除も行っており、手術後の予後は良好で外来で経過観察しています。末期では半数以上が化学療法などを目的に同じ患者さんが複数回入院をしています。

大腸癌は、各病期多くの症例があり、５大癌症例の約半数を占めています。

乳癌は初期ステージの症例が多く、半数以上の患者さんが乳腺悪性腫瘍切除を行っております。癌が再発した場合には化学療法が治療の主体となりますが、当院では化学療法専任の看護師や薬剤師が医師と協力して治療、副作用対策を行っているため、安心して治療を継続することが可能です。

令和８年４月、常勤医２名体制のもと放射線治療センターが始動しました。高精度放射線治療装置（トモセラピー）の設備があり、乳癌や前立腺癌などは外来通院でも照射を行っています。他医療機関から放射線治療目的の紹介も受け入れています。